

授業科目 身体障害作業療法学 II

【担当教員名】 大山 峰生		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【概要・一般目標：G10】 作業療法の対象となる整形外科領域における各疾患の症状、機能解剖を基本としたリハビリテーションに基本的な考え方、治療理論、評価法を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法の対象となる整形外科領域における各疾患について説明できる。 2. 手の機能解剖を理解し、各疾患の治療理論について説明できる。 3. 各疾患の治療上の問題点について説明できる。 4. 各疾患に対し適切な評価を実施できる。 5. 各疾患の問題点を抽出できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	手外科疾患に対するリハビリテーション総論			1	講義
2	屈筋腱損傷と機能解剖			23	講義
3	伸筋腱損傷と機能解剖			23	講義
4	手の骨折と機能解剖			23	講義
5	末梢神経損傷と機能解剖			23	講義
6	手の変形の病態			23	講義
7	RA 手の変形			23	講義
8	その他手の炎症性疾患			23	講義
9	大腿骨近位部骨折			45	講義
10	腱損傷の評価			45	講義・実技
11	骨折の評価			45	講義・実技
12	末梢神経損傷の評価			45	講義・実技
13	大腿骨近位部骨折の評価			45	講義・実技
14	拘縮概説			45	講義
15	拘縮の診方の実践			45	実技
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ハンドセラピー入門	中田真由美・大山峰生	三輪書店	2011・3,800円＋税
参考書					
その他の資料		資料配布			
【評価方法】 出席が3分の2以上で、かつ期末試験の点数100%で評価する。			【履修上の留意点】 外部から対象者（手の外傷患者）を招いて、実際に評価する実習も行う。		